

科目名	災害看護、 社会・看護の動向 (災害看護)	分野/教育内容	統合分野/看護の統合と実践
開講年次・時期	3 年後期 令和 5 年 5 月 16 日	単位数/時間	1 単位/15 時間 災害看護：12 時間、国際看護：4 時間、 看護の動向：2 時間の 3 単元を合わせて 1 単位となる
担当講師名	坪井 忠和	所属・役職	岩手県立宮古病院 看護師長兼副総看護師長
		資格・免許	看護師、日本 DMAT 隊員
授業の概要/ 到達目標	1. 災害看護及び看護の基礎的事項を理解する 2. 災害看護について生涯学習し続ける動機付けが得られる 3. 地域防災に対し一市民としてだけではなく、医療従事者としての心構えがもてる		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	終講試験 90 点満点		
使用テキスト	災害看護 看護の専門知識を統合して実践につなげる 改訂第 4 版 (南江堂)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第Ⅰ章 災害および災害看護に関する基礎的知識 ① 災害・災害看護の定義 ② 災害の種類、疾病構造、災害サイクル、災害関連死 ③ 避難行動要支援者 ④ 災害における連携		講義
第 2 回	第Ⅱ章 災害発生時の社会の対応やしきみ		講義
第 3 回	第Ⅲ章 災害時の被災者および援助者の心理 第Ⅳ章 災害各期における看護活動		講義
第 4 回	第Ⅴ章 災害時に必要な技術 第Ⅵ章 病院における災害看護		講義
第 5 回	第Ⅶ章 災害看護における倫理・教育・理論		講義
第 6 回	第Ⅷ章 対象別にみた災害看護の実践 1. 地域看護と災害 2. 母性看護と災害 3. 小児看護と災害 4. 高齢者看護と災害 5. 精神看護と災害 6. 慢性期看護と災害 7. 感染看護と災害		講義 および 演習
終講試験			
履修上の留意点	1. 教科書には事前に目を通してから授業を受ける 2. 不明な点はそのままにせず、授業中・後に質問するなどの自主的な姿勢を期待する 3. 社会貢献を広い視野から考えられるように、新聞やテレビ等で新しい情報を得る		